

第 12 回排水処理技術セミナー

令和 5 年 10 月 31 日 (火)

第 12 回排水処理技術セミナーでは、静岡県資源環境技術研究会、静岡市環境保全推進協会、静岡県工業技術研究所との共催により、排水処理技術の最新の知見等について、3 名の講師による講演を開催しました。

静岡市にある静岡県工業技術研究所の視聴覚室を会場に、当協会の会員をはじめ、対面参加 30 名、オンライン参加 49 名の計 79 名の方にご参加いただきました。会場の参加者からは、自社の現場の状況を踏まえた活発な質疑がされ、セミナー終了後には、講師との名刺交換も行われていました。

| | | プログラム |
|----------------|-------|--|
| 10 / 31 (火) | 13:30 | 開講 |
| | 13:35 | 講演 1 「排水処理技術の原理と処理方法の基礎」 講師：井辺技術士事務所 代表 井辺 博光 氏 |
| | 14:45 | 講演 2 「スグ効く！ヨク効く！生物処理改善剤「源帰 L」について」 講師：SUZUKI Lab. & Dev. 代表 鈴木 誠治 氏 |
| | 15:55 | 講演 3 「維持管理における生物相診断の活用」 講師：株式会社西原ネオ ソリューション推進部 マネージャー 横山 菜穂子 氏 |



会場の様子



講師：井辺 博光 氏

(1) 「排水処理技術の原理と処理方法の基礎」

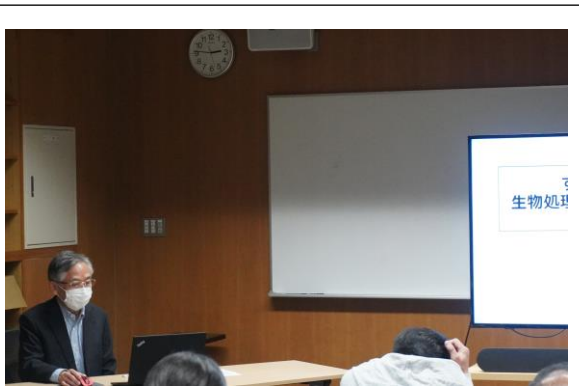
講義では、地球上の限られた水資源に対し、日本は一定の量を消費していることを前提に、地球温暖化による水への影響や温室効果ガスである二酸化炭素の循環などが説明された。

次に、水質に関する法令として、環境基本法に定める環境基準の考え方や、水質汚濁防止法に定める排水基準の考え方、さらに厳しい上乗せ基準等について説明がありました。

次いで、生活系排水処理技術の原理と処理方法の基礎、酸系排水や油系排水の処理技術について図解を用いて詳しい説明があった後、排水処理における今後の課題についてお話がありました。

(2) 「スグ効く！ヨク効く！生物処理改善剤「源帰L」について」

講義では、排水処理にかかる生物処理についての概念について説明された後、講師が研究開発に携わった生物処理改善剤「源帰L」について、その性質、効果について説明がありました。さらに、当該剤を使用した処理の改善事例やコストメリット等について、図解による説明がありました。



講師：鈴木 誠治 氏



講師：横山 菜穂子 氏

(3) 「維持管理における生物相診断の活用」

講義では、活性汚泥は、様々な細菌（バクテリア）、原生動物、後生動物等の微生物また非生物性の無機物や有機物から構成され、凝集性のあるフロックを形成していることが説明され、活性汚泥中のフロックや微生物を顕微鏡を用いて観察することで、生物相による汚泥の状況を推測する生物相診断の手法について説明がありました。

次に、生物相診断の具体的な活用事例として、ばっ気槽の沈降性不良の事例や、沈殿槽でのスカム（汚泥塊の浮上）の事例、ばっ気槽の発泡の事例について、想定される原因と考えられる対策について説明がありました。

次に、顕微鏡を使った検鏡の手順についての説明があり、次いで、フロックの形状や指標となる生物相による負荷判断の基準がスライドと動画で説明されました。